

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2024年	7月	26日	(記入者) 垣内博久	
取材参加者	荒井	石井	垣内	久門	島田
	鶴田	横山			
取材対象先	上北山村：景德寺の如意輪観音坐像				

所在地	吉野郡上北山村河合136				
所有者(取材 対応者)名	景德寺 畑 円忍		連絡先 07468-2-0052		
	住職	(個人情報守秘)	PCアドレス		
取材申込	申込先・行政名など：景德寺				
市町村 指定文化財	彫刻	1躯	如意輪観音坐像	2003(平成15)年12月18日指定	
	建造物	棟			
文化財指定理由	丸く充実した頬を胸部や右膝を立てて座る体つきは破綻のない彫刻性を示し、小像ながら均整のとれた品格のある造形は作者の優れた技量を示し、本像が景德寺に祀られていることは上北山村の歴史を考える上でも重要。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	火災報知器等の設備はないが、寺内に住まわれているので速やかな対応が出来る。	特になし。
	被害の有無、対策など	記入者の感想
獣害対策	裏が山なので、ハクビシン、タヌキ、イタチ、サル、キツネ、シカが現れるが被害はない。	特になし。
保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策	秘仏として厨子に入り一切非公開なので保存の問題はない。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

檀家の減少等の心配はあるが、座禅体験からそのまま弟子になられた***さんが高齢のご住職のお世話をされ、お寺を守っておられることとお聞きした。お寺の将来と仏像の保存継承に明るさを感じた。

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2024年	7月	26日	(記入者) 垣内博久	
取材参加者	荒井	石井	垣内	久門	島田
	鶴田	横山			
取材対象先	上北山村：景德寺の如意輪観音坐像				

〈写真転載許可済み〉

文化財指定名 如意輪観音坐像

文化財 (書籍の切り抜き)



文化財 (厨子、釈迦如来像光背の後ろ)



キューピー和尚 (三代目)



景德寺



文化財の由緒などを記入

鎌倉時代～南北朝時代の作で檜の一木造りで彫眼。像高は30cmに満たず、木瓜型(ぼけがた)厨子に収められ秘仏として一切公開はされない。伝来の経緯はわかっていないが大きさから念持仏と思われる。右手を江戸時代に修復しているが秘仏のため保存状態は良いという。

所有社寺や地域(廃寺等)の歴史や特徴を記入

景德寺は北条氏の家督争いに敗れた平朝臣畠山家長が武蔵国から修験道を信奉する北条政子ゆかりの地に1383(永徳3)年に開基した。現在地には江戸時代に移り、本堂は1926(大正15)年の建築。現在は曹洞宗で現住職は28代目。120軒ほどの檀家を有する。本堂で迎えてくれるキューピー和尚は三代目で歴代住職の袈裟で仕立てられた衣をまとっている。1月8日には河合弓曳引き行事「八日薬師」が行われる。